

指定管理業務評価表

施設名	小牧市西部コミュニティセンター		
対象年度	令和2年度	評価担当部	健康生きがい 支え合い推進部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ (法人番号：9010001018924・9010001122288)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：3人 非常勤職員：7人 合計：10人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	4,826	118	110	5,054
7月	7,162	78	237	7,477
8月	5,614	119	159	5,892
9月	6,529	92	266	6,887
10月	7,432	79	577	8,088
11月	7,607	66	305	7,978
12月	6,524	47	196	6,767
1月	3,607	27	166	3,800
2月	1,309	9	6	1,324
3月	7,975	70	214	8,259
合計	58,585	705	2,236	61,526

(2) 増減要因

令和2年度の合計利用者数は61,526人となり、前年度と比較して▲102,777人（約▲62.6%）と大きく減少する結果となった。

減少の要因としては、令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設利用を一時停止したことや、利用定員を1/2に制限したことが大きく影響している。

令和 3 年度は新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことにより、今後少しずつ感染者数拡大が抑えられていくと考えられる。しかし、当面はコロナ禍での感染対策を行っての運営が続くと見込まれるため、イベント等の開催方法について工夫し、施設利用者数の回復・増加に努められたい。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和 2 年 8 月	回答数	200 名
	令和 3 年 3 月		203 名
利用者の主な意見	室内が暑い。		
具体的な対応状況	空調機器の不調が原因だったため、修理を実施した。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和元年度 (決算額)	令和 2 年度 (決算額)	令和 3 年度 (予算額)	備 考 (主な内訳、増減 要因)
収入	指定管理料	40,900	41,798	42,200	
	事業収入	0	0	0	
	合計	40,900	41,798	42,200	
支出	人件費	18,843	19,151	19,735	
	旅費	23	36	35	交通費等
	需用費	8,415	8,388	8,355	光熱水費・修繕費等
	役務費	454	480	497	通信費・手数料等
	委託料	5,890	6,248	6,034	清掃警備委託等
	使用料及び賃貸料	1,068	1,111	1,477	借上料、受信料等
	その他	6,207	6,384	6,067	間接費等
	合計	40,900	41,798	42,200	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。

維持管理 業務	<p>休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。</p> <p>清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められており、利用者アンケートにおいても清潔で気持ち良い、といった意見もあり、良い評価が得られている。</p> <p>施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的実施されており適正に管理されている。</p>
自主事業	<p>例年行っていた夏祭りや、ニューイヤーフェスタなど参加者数が多かったイベントが新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。そういった状況の中で、定員を設ける等、感染対策を行ったりすることで、星空コンサートや、イルミネーション等、何かできることを考えて実施した点が評価できる。</p> <p>令和3年度も引き続き、新型コロナウイルスの影響で例年通りの自主事業の実施が難しい状況であるが、各行事の実施にあたっては、地域と連携のうえ、施設利用者の回復・増加に繋がるような事業の企画・実施に努めること。</p>
サービスの 質	<p>利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるようサービスの質の向上を図るよう努めること。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>収支状況については、施設修繕のため流用があったが、計画的かつ適正に執行されている。</p> <p>引き続き、経費節減に努めること。</p>
その他 (緊急時の 対応等)	<p>新型コロナウイルス対策で、施設職員による貸館利用後の消毒対応など、感染防止対策を適切に実施している。安全・安心に利用できるように配慮されており、今後も同様の状況が続く中、継続するよう努めること。</p> <p>危機管理マニュアルの内容を全職員が定期的に確認し、マニュアルを基に研修・訓練を実施している。</p> <p>また、防災訓練や不審者対応訓練の実施など、児童館と連携した安全管理体制が構築されている。</p>